

第1号様式（第7条関係）

## 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 市 長		平成 28年 7月 27日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市南区吉祥院落合町15		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 東レコーテックス株式会社 代表取締役社長 木下 淳史
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001-2004	
適用範囲	東レコーテックス株式会社 本社・化成品工場	
導入年月日	2002年12月20日	
認証番号	JQA-EW2869	
基本方針	当地立地の条件を十分認識し、社内外の人々の生命と健康を守る安全・防災・環境を経営の最優先課題とする。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別管理廃棄物の排出量 前年比1%必達削減+α目標削減</li> <li>・ 一般廃棄物の排出量 前年比5%必達削減+α目標削減</li> <li>・ 古紙リサイクルの70%以上の推進</li> <li>・ コピー用紙の削減 前年比2%削減</li> <li>・ 繊維・樹脂層の削減 前年比各1%減+α目標削減</li> <li>・ 省エネの推進 2016年度SVA目標必達</li> </ul>	
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工程ロス削減による廃棄物の削減。</li> <li>・ 古紙の分別強化、不要コピーの削減。</li> <li>・ 省エネ機器の導入による省エネ推進。</li> <li>・ 定期的な温調機の清掃・整備による省エネ推進</li> <li>・ 昼間・休憩時間に不要電灯の消灯推進</li> <li>・ 地域清掃活動の推進。（花植えなどの推進）</li> <li>・ 廃プラのリサイクル化</li> </ul>	
目標を達成するための取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工程ロス削減による廃棄物の削減。・・・推進中</li> <li>・ 古紙の分別強化、不要コピーの削減。・・・分別強化中</li> <li>・ 省エネ機器の導入による省エネ推進。・・・インバーター導入例</li> <li>・ 定期的な温調機の清掃・整備による省エネ推進・・・定期掃除中</li> <li>・ 昼間・休憩時間に不要電灯の消灯推進。・・・実施中</li> <li>・ 地域清掃活動の推進。（花植えなどの推進）・・・実施中</li> </ul>	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 省エネについては、若干未達で有るが、それ以外の廃棄物削減等はゼロエミッション1%以下を達成している。</li> </ul>	
事業活動に係る法令の遵守の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3ヶ月に1回のCSR委員会を開催し、法的遵守状況の確認を実施。</li> <li>・ 年1回親会社の東レ(株)より監査を受け、不備な点について指導されている。</li> <li>・ 毎月1回全社朝礼で従業員への法令遵守を指導している。</li> <li>・ これまで行政指導は無かった。</li> </ul>	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ISO14001 2015年度版への改正を実施中。2017年4月からスタート。</li> </ul>	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。